

令和6年第2次奈良市文化振興計画推進に伴う事業視察について

資料2-1

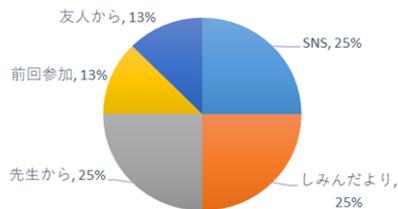
	日程	会場	視察委員名	視察事業
1	11月16日（土）	ならまちセンター	山下 里加委員	グリーンマウンテンカレッジ（奈良市アートプロジェクト）
2	11月27日（水）	杉岡華邨書道美術館	関根 俊一委員	根本知の仕事 ー源氏物語から現代のかなの美へー
3	12月1日（日）	ならまちセンター	上田 假奈代委員	ならまちワンダリング「からだ・あそぶ・よろこぶ」（奈良市アートプロジェクト）
4	12月4日（水）	杉岡華邨書道美術館	風間 勇助委員	根本知の仕事 ー源氏物語から現代のかなの美へー
5	12月22日（日）	ならまちセンター	小野 小町委員	青少年と創る演劇LITE（ミニ公演）（奈良市アートプロジェクト）
6	1月11日（土）	北福祉センター	松下 育夫委員	暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト
7	3月11日（火）	市美術館	島 浩二委員	ヒメコレ！現代アートコレクションでめぐる時空旅行
8	3月12日（水）	市美術館	萩原 雅也委員	ヒメコレ！現代アートコレクションでめぐる時空旅行

事業名	グリーン・マウンテン・カレッジ				
主催	奈良市・奈良市アートプロジェクト実行委員会				
文化振興計画項目	(2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充 (14)文化の振興と経済との連携に関すること				
目的	多様な背景を持つ参加者同士が対話を通して相互に学び合う場を提供すること。				
重点対象	市民だけでなく、奈良を訪れる観光客にも気軽に立ち寄っていただける場所として、新しい夜のコンテンツを提供し、奈良での滞在時間を延ばすことで宿泊の促進につなげる。				
目標値(人)	来場者数	実績値(人)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	128		157	154	99
事業区分(指定管理事業のみ記入)		事業予算	収入(円)		支出(円)
			400,000		400,000
<p>概要 (実施方法、協力者や協働相手など)</p> <p>2018年に美術家の小山田徹を校長としてスタートした「学び合いの場」です。毎年設けられるテーマのもと、多様な背景を持つゲストを呼び、小さな火を囲みながら参加者と共に対話を繰り返し広げる。今年度は、校長代理のプブ・ド・ラ・マドレーヌとゲストがゆるやかに対話する。</p>					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期		内容			
7月		校長代理より講師案提案			
8月、9月		日程調整			
11月		市民だより等での事業の告知			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
報償費	275,000				
委託料	125,000				
現状					
<p>今年のテーマは「ずっと前からここにいたよ、ココイタ」。いないことにされていた、いるのにずっと気づかれなかった、ひとりぼっちだと思っていたけど実はわたしを見守り続ける人がいた…そんな、さまざまな関係性を探す。</p> <p>校長代理 プブ・ド・ラ・マドレーヌ 11月16日(土)ゲスト 中島 香織(一般財団法人たんぼぼの家 事務局長) 11月30日(土)ゲスト 雨森 信(インディペンデント・キュレーター、HUB-IBARAKI ART PROJECTアドバイザー) 12月14日(土)ゲスト 菅野 優香(同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授)</p> <p>今仕事に就いておらず、仕事や働くことに悩みを持つ方をサポートしている奈良若者サポートステーションに事業サポートを依頼することで社会課題へのアプローチも実施。</p>					
課題					
<p>昨年度事業アンケートにおいて日帰りの参加者が99%である。日帰りより多くの経済効果が見込める宿泊につながるよう各種プログラムを今年度は同時期の開催にしている。</p>					

事業名	根本 知の仕事～源氏物語から現代のかなの美へ～				
主催	一般財団法人奈良市総合財団(杉岡華邨書道美術館)				
文化振興計画項目	(1)市民の文化に対する意識の高揚に関する事 (2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充(4)伝統文化の保存、普及及び継承				
目的	かな書の魅力を伝え、市民文化並びに書道文化の振興を図り観覧者数の増加				
重点対象	NHK大河ドラマ「光る君へ」の題字揮毫や書道指導をされ、かな書が隆盛を極めた平安中期の時代を深く見つめた話題の根本知氏に焦点をあてることで市民、観光客等幅広い層を対象				
目標値	来場者数(人)	実績値(同時期の秋季企画展)	令和3年(人)	令和4年(人)	令和5年(人)
	2,500		1,643	2,272	2,517
事業区分	指定管理事業	事業予算	収入(円)		支出(円)
			1,902,500		1,902,500
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
源氏物語の作者である紫式部が主人公の「光る君へ」がNHK大河ドラマとして放送され、源氏物語だけでなくかな書についての関心が高まっている。杉岡華邨は貴族の生活と一体となっていたかな書文化の実相に迫ろうと源氏物語の研究に生涯をかけた。本展ではかな書が隆盛を極めた平安中期の時代を深く見つめた話題の根本知氏に焦点をあて、書作家及び研究者としての活躍を紹介する。					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期		内容			
2月～		事業協力交渉			
4月頃～		事業内容等打ち合わせ			
9月頃～		広報用印刷物、展示パネル等作成			
10月～		広報物等発送			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
旅費交通費	90,000	諸謝金	200,000		
通信運搬費	77,500	委託費	998,000		
備品等購入費	400,000	広告宣伝費	50,000		
消耗品費	26,000				
印刷製本費	61,000				
現状					
開催日 11月2日(土)～12月25日(水) 学芸員による解説会 11月16日(土)、12月21日(土)14:00～ コンサートと解説会「書と音楽のマリアージュ 根本知の仕事とともに」11月23日(土)14:00～ 書道実技講座「カレンダーを書こう」11月24日(日)12:00～ 14:00～ 書道文化講演会 源氏物語時代の書 12月14日(土)18:30～					
課題					
少子高齢化や書道愛好家の減少などによる観覧者数の減少					

事業名	ならまちワンダリング「からだ・あそぶ・よろこぶ」				
主催	奈良市・奈良市アートプロジェクト実行委員会				
文化振興計画項目	(2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関すること (8)子どもたちの情操を高める文化環境の整備に関すること				
目的	あらゆるものを身体を育む遊びへと変換するプログラムで、人間が本来持っている「身体」の運用方法を見出す。				
重点対象	子どもたちを主軸としながら、地域全体での文化的成長や身体的活動の促進を目指している				
目標値	参加者数	実績値	令和3年度	令和4年度	令和5年度(前年度類似プログラム参加人数*講師は同じ)
	158人				
事業区分(指定管理事業のみ記入)		事業予算	収入(円)	支出(円)	
			3,000,000	3,000,000	
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
あらゆるものを身体を育む遊びへと変換する「からだあそぶよろこぶ」は、民具をテーマに身体が場をつくる安藤隆一郎氏と飯田惣一郎氏の考案プログラム。かつて民具は暮らしの中で私たちと一体となることで、その身体機能を育む役割を果たしてきた。今日では不要となって眠っているこの民具をならまちで探し出し、現代のトレーニング道具として蘇らせる。					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期		内容			
9月末		プログラム企画の決定			
10月		民具集め			
11月30日、12月1日		プログラム開催(2回)			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
委託料	3,000,000				
現状					
<p>昨年度のならまちワンダリングキックオフイベントの際に実施した「案山子投げ」(予約不要:131人参加)と「身体探検ツアー:13人参加」(予約要)では参加人数に大幅な差が出た。会場近くに用事があり、立ち寄ることができるプログラムに関しては多くの参加者が見込めるが、事前予約が必要な場合は集客が難しい。</p> <p>今年度は10月から「ならまちワンダリング」の活動を開始しているが、11月23日から12月1日までを「ワンダリングウィーク」と位置づけ、ならまちセンターを拠点に多彩なプログラムを展開している。これにより、ワンダリングを目的に訪れる人々だけでなく、センター利用者にも参加の機会が広がっている。また、センター内でのプログラムをきっかけに、他のプログラムにも興味を持ち、さらなる参加へと繋がっている。このように、ならまちセンターを起点として有機的なつながりが生まれ、参加者が増加している。さらに、子どもが興味を持つことで、大人がプログラムに参加するきっかけにもなっている。</p>					
<p>【ならまちセンター内主なプログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎにぎ&とぎとぎ つみき部(11/23-12/1) ・民具BANK奈良—民具の声を聞く—(11/23-12/1) ・偶然と選択の作詩ラボ、作詩展(11/16,11/23-12/1) ・コトナラボをつくる(11/28-12/1) ・「拡張するファッション論」特別講義(11/29) 『美術は教育』刊行記念トークイベント「美術と撤退学」(11/30) ・からだ・あそぶ・よろこぶ(11/30,12/1) ・グリーン・マウンテン・カレッジ(11/16,30,12/14) 					
課題					
<p>申込が必要なプログラムの参加者募集には苦勞した。広報の方法については、どの層に響くのかを分析し、効果的な手段を講じる必要がある。</p> <p>また、本プログラムは参加してもらわなければその魅力が伝わりにくい性質がある。そのため、実際に体験してもらい、興味を持ってもらうことが重要である。引き続き、プログラムを周知し、定着させていく取り組みが必要である。</p>					

事業名	奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2024-2025」青少年と創る演劇Lite				
主催	奈良市・奈良市アートプロジェクト実行委員会				
文化振興計画項目	(6) 青少年の文化活動の支援に関すること				
目的	創造する喜びを体感し、その成果を発信するとともに地元である奈良について自分の言葉で語る事ができる人材の育成				
重点対象	次世代を担う若者、特に中高生に創作の楽しさを体感いただくためのプログラムである				
目標値	参加者数	実績値	令和4年度	令和5年度	令和6年度(11月15日現在申込者数)
	20人		17人	29人	16人
事業区分(指定管理事業のみ記入)		事業予算	収入(円)	支出(円)	
			1,200,000	1,200,000	
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
中高生が演劇のプロとともに演劇作品を創作・公演するプログラム。プログラムディレクター 田上豊氏(芸術文化観光専門職大学助教) 演目は、昨年度の戯曲講座ワークショップで、奈良ゆかりの写真家入江泰吉の撮影した昭和の写真をもとに、一般参加者が創作したオリジナル戯曲を使用しリーディング劇を創作する。 プログラム日程は11月29日～12月22日の内8日間。最終日には成果発表のミニ公演を行う。					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期	内容				
7月～	プログラムディレクターと打合せ				
9月～11月	参加者募集				
11月・12月	プログラム開始				
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
委託料	1,200,000				
現状					
参加者募集において想定していた20名を下回る結果となった。今回申込した参加者の事業を知ったきっかけは右のとおりSNS、学校の先生からの紹介、しみんだより等様々な媒体から情報を得ていることがわかる。					
課題					
演劇経験者のみならず未経験者を含めより多くの方に参加いただけるような広報活動					



事業名	暮らしに芸術の感動を届けるプロジェクト				
主催	一般財団法人奈良市総合財団(ならまちセンター、音声館)、奈良市				
文化振興計画項目	(1)市民の文化に対する意識の高揚に関すること (2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充				
目的	市民や子どもたちが集まる場所へ音楽家等の芸術家を派遣し演奏会等やコンサート会場への招待事業の実施等市民が文化芸術に触れる機会を提供するとともに文化芸術への関心を高めること				
重点対象	様々なハンデがあり日頃文化芸術へ親しむ機会少ないと思われる施設等へ積極的な事業案内を行う。				
目標値	来場者数	実績値	令和5年(人)	令和6年(人)	
	実施施設の規模が異なるため設定なし		1,232	261 (※10月末現在)	
事業区分	アウトリーチ事業(指定管理) コンサート招待事業(奈良市)	事業予算	収入(円)	支出(円)	
			1,800,000	1,800,000	
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)					
当事業は、令和5年度からの取組で、演奏家等が直接地域の施設等へ出向くアウトリーチ事業。 財源はふるさと納税(心のふるさと応援寄付)を活用。 派遣芸術家は、一般財団法人100万人のクラシックライブ所属の演奏家や地域で活動する芸術家。 令和6年度はアウトリーチ事業に加えてフードバンク対象世帯(就学援助対象世帯等)に対しコンサート招待事業を実施。					
事業スケジュール(準備を含む)					
時期		内容			
4月～9月		開催場所(福祉センター、市内病院、フリースクール等)調整			
6月～3月		事業実施			
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)					
内訳	金額	内訳	金額		
人件費	77,000	諸謝金	392,000		
通信運搬費	14,000	租税公課	2,000		
消耗品費	70,000	委託費	700,000		
印刷製本費	35,000	手数料	10,000		
コンサート招待 入場料	500,000				

現状

アウトリーチ事業は昨年度同様に福祉センターや東部地域に加え新たにフリースクールや療育病院等市内各所で12回程度開催予定している。

昨年度実施したアウトリーチ事業の一部開催箇所は、一般財団法人100万人のクラシックライブの「子どもたちに音楽を届けるプロジェクト」の一部として財政支出なく開催している。

今年度新たな取組としてフードバンク対象世帯にコンサートへの招待事業を実施している。

参加者の感想は下記のとおりである。

・あまり生演奏を聴く機会がないので、子どもに貴重な体験をさせることができたと大変よかったです

・コンサートについて

親子でとっても楽しい時間を過ごせました。

様々なジャンルの曲があり、子どもから大人まで楽しめるように考えられた内容でした。個人的には一部最後の曲をどんな風に、演奏されるのかドキドキして聞いていました。素晴らしかったです。

なんといっても奏でる音が素晴らしく、感動しました。子どももよっぽど楽しかった様で、夏休みの日記に書くと言っていました。指揮を体験できる企画も素敵でした。

フードバンク事業について、このような企画を考えてくださり、ありがたかったです。興味があっても金銭面で諦めてる事が多いので、無料で招待はとてありがたかったです。またフードバンクのLINEで知らせてくださるのもとてもありがたかったです。たとえば広報などで、お知らせがあったとしても、見つけ出せず、こんな素敵な企画がある事さえ、知らないままだったと思うので、お知らせ方法もわかりやすくてよかったです。ありがとうございました！

・息をのむ始まりで緊張したが、すぐに引き込まれて、あっという間に時間が過ぎた。

課題

次年度以降の継続については財源の確保が必要であるためふるさと納税のご案内もあわせてを実施している。

事業名	奈良市美術館活性化事業 オープンミュージアムプロジェクト ヒメコレ！現代アートコレクションでめぐる時空旅行			
主催	一般財団法人奈良市総合財団(奈良市美術館)			
文化振興計画項目	(1)市民の文化に対する意識の高揚に関する事(2)芸術鑑賞等広く市民が文化に接する機会の拡充に関する事(9)文化に係る交流の促進に関する事			
目的	子どもから大人までの幅広い世代の方へ現代芸術の展覧会を通して日常の見え方や感じ方に変化を与える鑑賞体験を行うことで文化芸術鑑賞の機会を提供し市民文化振興を図る			
重点対象	展覧会を無料にすることで普段文化に触れる機会の少ない層を対象			
目標値	来場者数(人)	実績値	令和6年度新規事業のため過去の実績値なし	
	2,000			
事業区分	指定管理事業	事業予算	収入(円)	支出(円)
			3,000,000	3,000,000
概要 (実施方法、協力者や協働相手など)				
さまざまな現代アートに触れる機会を提供するとともに、一般にはあまり知られていないコレクターの思いや購入方法などの話を直接聞ける機会を提供する。一般社団法人はなまると企画・運営等で協力し展覧会を開催。				
事業スケジュール(準備を含む)				
時期		内容		
令和5年12月～		事業協力交渉		
2月～		事業内容等打ち合わせ		
10月～		広報用印刷物、展示パネル等作成		
12月～		広報物等発送		
事業費内訳(主な経費)(予算 単位:円)				
内訳	金額	内訳	金額	
委託費	2,500,000			
広告宣伝費	100,000			
通信運搬費	100,000			
消耗品費	299,000			
租税公課	1,000			
現状				
開催日 3月8日(土)～3月23日(日) コレクターズトーク 3月8日(土)15:00～16:00 作品解説ツアー 3月9日(日)15:00～16:00 展示作家 Aokid×MESTーク Aokidパフォーマンス 3月15日(土)14:00～16:00				
課題				
美術館にあまり関心のない方に関心を持ってもらえるような広報や仕掛けをどのように工夫したら良いか。				